

第33回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト 入賞作品決定



最優秀賞（宮城県知事賞）「空より高く天まであがれ」大日向 圭一 千葉県船橋市（敬称略）

県内外から応募のあった76点の作品の中から、日本写真家協会井村淳氏の厳正な審査の結果、20点の入賞作品が決まりました。

当センターでは、2月1日より応募全作品を展示しますので、是非ご来館下さい。また、5月2日から右記展示スケジュールにより入賞作品の巡回展示を行います。

写真展スケジュール

期間	会場	展示内容
2/1~3/31	宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター	全作品
5/2~5/30	登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター	入賞作品
6/3~6/27	登米市役所1階ロビー	入賞作品
7/1~7/30	栗原市役所1階ロビー	入賞作品
8/1~8/30	JRくりこま高原駅オアシスセンター	入賞作品

滝川高校の皆さんが、伊豆沼で体験学習をしました。

科学技術系人材の育成校（スーパーサイエンスハイスクール）として文部科学省より指定されている北海道の滝川高校1~2年生の生徒が、伊豆沼・内沼で体験活動を行いました。講話では全ての生徒が2問以上質問するなど積極的。疑問をそのままにしない姿勢は、科学を学ぶ上でも重要だと感じました。学生さんの今後の成長が楽しみです。



体験活動では、シロネという植物を植栽しました。

スワンププロジェクト始動

伊豆沼財団と中国の送信機メーカー Druid Tech. Co., Ltdが主催し、北海道クッチャロ湖水鳥観察館の協力、樋口広芳東京大学名誉教授を顧問とするスワンププロジェクトが始動しました。これはオオハクチョウとコハクチョウにカメラ付きGPSを装着し、位置情報やカメラ画像などを公開することで市民によるハクチョウ見守り体制を構築する国際プロジェクトです。

2023年12月21日、さまざまな部位の計測（図1）後、オオハクチョウ10羽（オス5羽、メス5羽）にカメラ付きGPS（図2）を装着しました（図3）。位置情報、カメラとも4時間ごとに記録され、私たちはハクチョウのいた場所を知ることができ（図4）、ハクチョウが見た風景を目にすることができます（図5～7）。中でも飛行中の写真は圧巻です。図7は普段の移動中のものですが、図8は1月18日9時に北帰行の途中で撮影されたものです。2つのカメラ同時の撮影に成功しました。場所は一関市花泉町一本松前付近でした。このときの時速は54km/h、高度はおよそ55mでした。このオオハクチョウはこのあと、奥州市新山付近まで北上しました。出発地からそこまでの距離は55kmで、およそ1時間程度で到達したと推測されます。

現在、公開するためのホームページを準備中です。公開されましたら、「ニルスのふしぎな旅」のニルスの気持ちになってお楽しみください。



図1: オオハクチョウの嘴の長さを計測



図2: 四角い部分がGPSで左右の突起がカメラ



図3: 首輪標識をつけたオオハクチョウ



図5: 休息中



図6: 採食中



図7: 伊豆沼から長沼へ向けて飛行中。右上に翼が見える。



図8: 岩手県花泉町一本松前を北帰行中のオオハクチョウから得られた画像。



図4: オオハクチョウ6C08の12月の動き

